

## 今年1年を振り返ろう！

いよいよ今年も残すところわずかになりました。今年にはスポーツ界では、陸上の100mで桐生選手が9.98秒を出し、日本人で初めて10秒を切り、たくさんの人が感動しました。本校でも、2年生の高味くんが同じ100mで近畿大会に出場し、活躍しました。また放送メディア部が全国大会に出場したり、個人でもスポーツチャンバラやシンクロナイズドスイミング、ボーリング、バトントワーリングなどいろいろな分野で活躍しています。この活躍は彼らの『**あきらめない心**』『**地道な努力**』の結果だと思います。イチロー選手の言葉に『**大きな成果は小さな積み重ねの先にある**』というものがあります。日ごろの地道な努力が自分の夢を実現する原動力になるのです。

さて、もうすぐ新しい年を迎えます。3年生はラストスパート！志望校合格に向けて勉強あるのみです。2年生は来年いよいよ受験生です。受験に向けた準備を本格的にスタートしないといけない時期になりました。1年生は新年を迎える前にもう一度これまでの学習習慣を振り返ってみましょう。

## 《1年生へ》 **学習習慣を身につけましょう！ 基礎学力をつけましょう！**

2学期には文系に進むのか理系に進むのかという1つの大きな進路選択をしました。将来の自分の進路について十分考えられたでしょうか。その進路について少しずつ準備をしていきましょう。

高校生活にも慣れ、文理選択や学校行事も一段落して、落ち着いてきたと同時に少し気が緩んできたということはありませんか。予習・復習、小テストの勉強といった日々の授業・学習を大切にしていますか。**日ごろの積み重ねが基礎学力を作ります。その基礎学力が進路実現につながります。**

明日から冬休みに入ります。各教科から冬休みの課題が出されていると思います。課題の内容は1, 2学期の復習が中心です。しっかりと取り組みましょう。今までの学習で自分の弱点もわかってきたことと思います。この冬休みにその弱点を克服できるように勉強しましょう！1月20日には3回目の模試が行われます。英数国の昨年度の過去問も配られています。冬休み中に必ず解いてみて下さい。

また、この冬休みに勉強や部活動、ボランティア活動など頑張ることを何か一つ決めて、一生懸命やってみましょう。年末年始なので、普段あまりしていない家事を手伝うのもいいと思います。有意義な冬休みを送ってください。



## 《2年生へ》 **受験生になる準備をしましょう！**

来年の科目選択もほぼ終わったことと思います。2年生は1年生以上に具体的に自

分の卒業後の進路をイメージしながら選択する必要があります。大丈夫ですか？

3学期には高校生活最大の行事である修学旅行が予定されていますが、それが終わるといよいよ本格的に受験に向けて準備を始めなければなりません。**2年生の3学期は「3年生0学期」とも呼ばれたりします。**「入試はまだ先のこと」ではありません。3年生になってから、部活を引退してからと先送りしていると後悔することになります。今できることから始めましょう。まずは**授業をしっかり受け、家庭学習をしましょう。**スタディサポートの調査によると、産近甲龍大に合格した生徒の学習時間の平均は2年生のこの時期で、平日70分から80分、休日で90分から120分だそうです。予習復習をし、小テストの勉強をするだけで、これぐらいの勉強時間は必要だと思います。これを1つの目安として頑張ってください。

2月にはセンター試験早期対策模試も実施されます。具体的な目標に向けて準備をしましょう。定期考査、課題考査、模試等のようなテストでもきちんとやり直すことは大切です。**何度も繰り返すことで、はじめて知識は定着するのです。**

漢字検定や英語検定などにも積極的に取り組みましょう。大学受験や就職にも資格は役に立ちます。実力をつけるという意味でも1つでも上の級を取得できるように頑張らしましょう。

### 《3年生へ》 最後の1ヶ月を全力で頑張りましょう！

4年制大学、短大、専門学校のAO入試、公募制推薦入試と就職試験がほぼ終わりました。就職を希望していた人はすべて合格し、就職先が決定しています。進学についても、第一志望校の合格を勝ち取った人、進学先が決定した人もたくさん出ています。しかし、3年生にとってはこれからの一般入試こそが本番です。あせらずこの冬休みに集中して勉強に取り組んでください。

すでに進路が決定している人もまだ決定していない人も残り1ヶ月の高校生活を充実したものにしてください。



### センター試験まで22日！ 私立大学一般入試まで約40日！

センター試験の受験票も届きました。センター試験まで1ヶ月をきりました。でも『現役生は最後の1日まで伸びる』と言われていています。あきらめずに第1志望校合格を目指して頑張りましょう！

最後の1ヶ月に何をしたら先輩たちの声を紹介します。(蛍雪時代12月号より)

#### センター対策で重視した学習手段

- ①過去問 ②予想問題 ③模試の受験と復習 ④自作のノート ⑤センター対策用の参考書・問題集 ⑥高校の授業や補習

過去問については平均7年～11年分、予想問題については3年～6年分ぐらいを解いています。ただし、新課程科目は過去問があてはまらないことがあるので要注意です。また、英語や数学に関しても若干問題形式や出題分野が変わっています。過去問や予想問題を解くときに気を付けることは時間配分や解答順序、知識事項の確認・補強、問題解法の確認・習得、間違いのパターン発見、マークシートの使い方などです。

## センター試験で実力を出し切るために必要なこと

①数多く演習して問題に慣れる ②知識事項を確実に習得 ③時間配分や解答順序の戦略・作戦 ④万全な体調管理 ⑤本番でのアガリ対策 ⑥ケアレスミスをしていない ⑦出題傾向や問題解法を徹底理解

試験が近くなるこれからは、心身のコンディション調整も重視しなければいけません。万全の準備をして本番に臨み、自分の実力を最大限に発揮しましょう！

上にあげたことは実は私立大学の一般入試にもあてはまります。ここからは自分の志望する大学の過去問を演習として利用しましょう。間違ったところを徹底してやり直して確実に習得していきましょう。

公募推薦入試も終わり、これからいよいよ一般入試本番を迎えようとしています。公募推薦で合格した人はさらに上を目指し、不合格だった人は再挑戦をして、合格を勝ち取ってください。

下記の表はベネッセの3年生進研模試（記述回）の国英集計のデータを元に検証したものです。



合格した先輩は何人？			
偏差値	GTZ	関西大一般	近畿大公募
67～73	S3	57	5
64～66	A1	76	10
61～63	A2	115	20
58～60	A3	157	42
54～57	B1	209	62
50～53	B2	200	69
45～49	B3	158	77
43～44	C1	36	12
41～42	C2	15	21
40以下	C3以下	16	13

合格した先輩は何人？			
偏差値	GTZ	龍谷大一般	龍谷大公募
67～73	S3	5	1
64～66	A1	17	5
61～63	A2	30	17
58～60	A3	45	10
54～57	B1	98	35
50～53	B2	144	48
45～49	B3	134	47
43～44	C1	34	9
41～42	C2	24	7
40以下	C3以下	27	6

近畿大に公募で合格した人で関西大の一般入試でも合格している人が多数います。公募推薦で合格した力があれば、一般まで粘りましょう。

同じ偏差値でも一般入試の方が合格者の数は多いです。公募で失敗しても一般入試の方がチャンスが多いです。やはり一般入試が入試の中心です。

## 合格体験記

これは、過去にも掲載した先輩たちの合格体験記からの抜粋です。

### 近畿大学 (36回生)

友だちが公募で受験が終わったり、遊んでいる人もいたりして、僕も何回も受験もやめようと思いました。他の人が遊んだりしている中で、受験勉強をするのは本当にしんどかったです。でも今やめるときっと後悔すると思ったので、頑張りました。その結果センター試験では、英語が75%とれてとても嬉しかったです。

### 武庫川女子大学 (36回生)

受験勉強は本当に苦しかったです。模試の結果はすべてE判定でした。何回も心が折れかけて、泣いてしまう時もありました。でもやはり「武庫女に行きたい。」という気持ちは強くて、どれだけしんどくても毎日勉強を続けていました。そのおかげで、センター試験本番では8割を超える点数をとることができるまでに力が伸びていました。

### 近畿大学 (35回生)

公募推薦入試では合格まであと2点というところで落ちてしまい、受験での1点の重みを知りました。それからも気を抜かず一般入試まで自分のペースを守り続けました。そして一般入試で第1志望校である近畿大学に合格することができました。僕はこの受験を通して自分で決めたことを最後まで手を抜かずやりきることの大切さを感じました。

### 立命館大学 (34回生)

一つだけ忠告しておきますが、少しは無理をしてください。無理しすぎるのも問題ですが、全く無理をしないと残るのは後悔だけです。

### 龍谷大学 (34回生)

「このままではダメだ」と危機感を持ったのは、推薦入試の不合格でした。今自分にできる最大限のことをやらなければ、受験が終わってからのいつまでも後悔することになるかもしれないと思い、そこから変わったことが合格につながったと思います。

推薦入試でうまくいかなかった先輩たちもそこから一心不乱に勉強をして、合格を勝ち取っています。みなさんも先輩たちのように諦めずに自分の目標を実現できるように、最後の1ヶ月これ以上できないというぐらい勉強しましょう。その経験はみなさんの自信となり、きっと将来役に立つことと思います！

※ 今年もインフルエンザやノロウイルスが例年以上に流行しています。うがい・手洗いをしたり、予防接種などを利用して、本番の入試を万全の状態を迎えられるようにしましょう！

